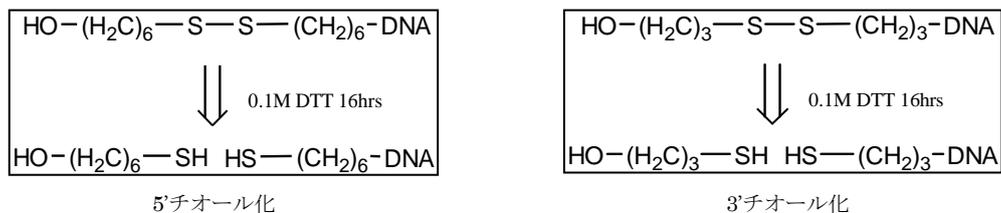


チオール化オリゴマーご使用上の注意

弊社で提供しておりますチオール化オリゴマーにつきましては、チオール基同士が S-S (ジスルフィド) 結合してしまうことを防ぐために、チオール基に保護基が結合した状態でお届けしております。

このため、ご使用直前に保護基を除去する必要があります。脱保護は、以下の方法を参考に行ってください。

注) 合成報告書に記載の分子量は脱保護前の分子量です。



<5'チオール化、3'チオール化 共通>

- ① 乾燥状態のオリゴマーを 0.1M DTT 溶液 (pH8.3 - 8.5) 適量に溶解する。
- ② 室温 (約 25°C) で反応させる。(16 時間~)
- ③ オリゴマー簡易カートリッジ¹⁾または脱塩カラム²⁾に通して DTT を除く。

いずれも、DTT を除去した後はすぐに反応にご使用ください。やむを得ず溶液状態で保存する場合には、酸化による S-S 結合形成を防ぐため、不活性ガス雰囲気下で保存するか、もしくは安定剤として 10mM DTT 存在下で保存してください。DTT はご使用時に簡易精製カートリッジまたは脱塩カラムにて除いていただくか、あるいは酢酸エチルで抽出除去してください。

- 1) アプライドバイオシステムズ社の OPC、Glen Research 社の Poly-Pac 等があります。DTT 除去に使用するときは、オリゴマー溶液をアプライした後、5%アセトニトリル-0.1M TEAA 10ml で洗浄して DTT を完全に除去してから 20%アセトニトリルでオリゴマーを溶出してください。
- 2) アマシャムバイオサイエンス社の NAP - 10 または NAP - 25 カラムなど。必要に応じて選択してください。

※ DTT : ジチオスレイトール 試薬メーカー各社から市販されております。

北海道システム・サイエンス株式会社
 ライフサイエンス本部 ファインケミカルチーム
 TEL : 011-768-5901
 FAX : 011-768-5951
 E-mail : dna@hssnet.co.jp